

年間行事

開運厄除け星まつり法要

2月3日（節分） 午後1時から

1年間の開運と厄除けを祈願し、お一人お一人厄除けのお祓いを行います。



火渡り柴燈護摩法要

4月29日 午後1時から

修験の山伏が、まさに神・仏となり修行し、皆様の祈願・供養を護摩本に書き、それを火に投じ祈願し、神仏の懐に飛び込むがごとく、火渡りを行い祈りを捧げます。その後皆様お一人お一人に火渡りをしていただき無事息災を祈ります。山岳修行(きびしい大自然に身を置き、悟りを得るための修行)より生まれた修験道の祈り 秘法



千手四国八十八ヶ所巡礼

春季 4月1日～5日 5日間

秋季 10月1日～5日 5日間

嘉麻の里の遍路地をご先祖様に背中を押していただきながら弘法大師様と歩きます

昔よりこの地は、佛教信仰が深く、各地に古い石仏等残り、この古の御仏体を安置する所では、各村各組ごとに、ご供養を行い、お参りし、お接待などがありました。安政年間には、仏像八十八体が造られ、平山村池田山山頂(現在の第1番札所)を開いて御仏体を安置し、開眼供養が行われ明治四十年、三泊四日の日程で巡拝したのが、巡拝の始まりです。

2014年には、御仏体開眼150周年をむかえます。



8月21日 午後1時から

たくさんの仏様を迎え、お話しして共に祈り、施餓鬼の船で浄土にお帰りになるのを燈籠の灯りと共に見送る一日

先祖の靈・水子の靈ならびに無縁仏御靈を塔婆と燈籠に書き、船に乗せ御祈願供養いたします。

頭上に水を注ぐように 大日如来の五智の法水を灌いでもらい物欲に支配された心を洗い、清らかにして、御供養します。

その功德が施主やその先祖にまで及び、
先祖追善供養になります。



風呂敷護摩法要

11月23日 午後1時から

護摩の灰を風呂敷で包み、



お一人お一人の身体に当て、無病息災を祈ります
10人の僧侶をお迎えして、10壇の護摩本を焚きます
それぞれの僧侶の功德を頂いてください。

托鉢

土用行4日間 寒行5日間を行います

社会的しがらみ、地位、名誉やプライドを無にして街を歩き 家々の仏様の供養、ご家族の健康と幸せをお祈りする功德を積む 修行です。人々の幸せをお祈りすることで自分も功德を授かります。

月行事

ご縁日護摩法要

28日 午前11時から

28日は、お不動さんのご縁日です。護摩本に願い事を書き、お不動さんの護摩の炎に投じ諸願の成就を祈ります。途中、大きな数珠を手に持ち輪になり、お経を唱えながら廻してお数珠を繰り、また四国八十八ヶ所お砂踏みを行います。お数珠はつながって輪になっているものですから、仏様に願いが通じ、成就することをあらわします。

水子供養法要

14日午後2時から

この世に生を受けることなく、また幼くして亡くなった水子の靈を供養いたします。